11月21日 月曜日 20日発行
昭和30年 西暦1955年

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3285号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日 国鉄特別扱承認 第232号)
(中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内鎖証報備内台警字第0136号)

4版★

あすの暦 11月21日(月) 旧10月8日
月齢 6.6 日出 6.21 日入 4.32 月出 前後 11.10 月入 前後 10.10 満潮 前後 9.55 8.30 干潮 前後 2.40 3.10 (小潮)

天気予報
今晩 北東の風曇時々晴。
明日 北または北東の風曇時々晴朝晩しぐれ、日中寒い。

第三次鳩山内閣

人選あす中に終了
二十二日認証式へ


首相官邸前に早くもできた報道陣のテント村

鳩山内閣は保守合同後の新情勢に対処するため既定方針どおり二十一日午前、臨時閣議をひらいて総辞職を決定することになった。第三次鳩山内閣の閣僚名簿は同日中に決定、二十二日首班指名後直ちに認証式を行う段取りになっている。

よって自民党の岸幹事長、石井総務会長、水田政調会長の三役は、二十日午後一時から東京永田町のグランド・ホテルに会合し、党内、閣内人事の腹案を持ちよって協議した。これに引続き同二時から三木、大野、岸、石井の四者会談を開き、原案を作成する。四者はこの原案を同日帰京した鳩山首相に提示するが、二十一日第二次鳩山内閣総辞職後、四代行委員、幹事長、総務会長の最高首脳会議を開いて最終的に決定する意向である。

鳩山首相けさ帰京

【鎌倉発】鎌倉で静養中だった鳩山首相は、予定を繰上げ二十日午前十一時すぎ自動車で音羽の私邸に帰った。

なお根本官房長官は同十一時五十分私邸に首相を訪問、留守中の政情について報告した。

新内閣顔ぶれ予想

総理大臣 鳩山一郎(再・民)
法務大臣 牧野良三(新・民) または清瀬一郎
外務大臣(副総理) 重光葵(再・民)
大蔵大臣 一万田尚登(再・民) または高碕達之助
文部大臣 松村謙三(再・民) または清瀬一郎
厚生大臣 馬場元治(新・自)
農林大臣 河野一郎(再・民)
通産大臣 石橋湛山(再・民)
運輸大臣 村上勇(新・自) または小林英三
郵政大臣 正力松太郎(新・民) または村上勇
労働大臣 倉石忠雄(新・自)
建設大臣 岩沢忠恭(新・参自) または郡祐一(新・参自)
国務大臣(国家公安委員長) 大麻唯男(再・民)
国務大臣(自治庁長官、行政管理庁長官) 太田正孝(新・自) または川島正二郎(再・民)
国務大臣(防衛庁長官) 船田中(新・自) または正力松太郎
国務大臣(経済企画庁長官) 高碕達之助(再・民) または太田正孝
国務大臣(北海道開発庁長官) 堀木鎌三(新・参民) または三好英之(新・参民)
官房長官 根本龍太郎(再・民)

林法制局長官留任

政府与党首脳は第三次鳩山内閣の組閣に当って内閣法制局長官林修三氏の留任を内定している。また根本官房長官の留任にともない松本滝蔵、田中栄一の両官房副長官の留任も確定的である。

石井氏、吉田前首相を訪問

石井自民党総務会長は十九日午後三時すぎ大磯の私邸に吉田前首相を訪ね、自由党の解党自民党結成について懇談した。

芳沢大使近く帰国

【台北十九日発AP=共同】近く辞任する芳沢駐華大使は十二月三日台北を出発、香港に数日間滞在の後、帰国することになった。

中共、工場の国営を強行

"私有"六百を接収

余った従業員 未開地へ強制疎開

【マニラ十一月十六日発USIS】十五日の北京放送は、中共の十二大都市では今年の初めから九カ月の間に合計六百十七の私有工場が政府に没収されたと次のように報じた。

◇中共の軽工業の中心地である上海では十月の末までに二百二十以上の私有工場が政府の共同経営下にはいった。この中には同市の紡績工場、製紙工場、タバコ工場、エナメル工場、製粉精米工場、セメント工場、染料工場など、自動車部品工場、造船所、セメント工場、染料工場などがすべて含まれている。天津では従業員五百名以上を有する全部の工場と、従業員百名以上を有する工場の大部分が接収された。

◇多くの場合幾つかの工場が一つに合併された。これは先に李富春偽国務副総理の声明した『中小工場を大工場と合併し、資本国有経済計画上不要と思われる工場は閉鎖する』という政府の政策に従ったものである。

◇同放送は工場の接収合併等によって失業した従業員の処置については何もふれなかった。しかし中共では仕事がないという理由で沿岸地方の各都市から今までに数十万の労働者を奥地へ強制的に疎開させている。中には北満の黒龍江省や西方の新疆省の未開発地域に送られたものもある。しかし都会の失業の大部分は今までさえ人口過剰と雇用不足とに苦しんでいた農村地方に強制的に送りこまれている。

日本商社が全量を落札
台湾向け人絹糸

【大阪発】台湾中央信託局はさる七日台北で人絹糸の国際入札を行ったが、十日在阪商社に入った電報によると、全量百五十一万ポンドを日本商社が落札した。価格は一二〇D(デニール)ブライトポンド当り四十七セント(FOB)同七五D六十三セント半、積月十一月—明年一月。

米第七艦隊司令官交替

【台北十五日発UP=共同】米海軍十五日の発表によれば、米第七艦隊司令官プライド中将は、サンディエゴの米太平洋海軍航空隊司令官となり、後任のスチュアート・H・インガーソル中将と十二月十五日交替する。

『拒否権』も辞さず

国府 モンゴルの国連加盟に反対

【台北十九日発UP=共同】台北で十九日明らかにされたところによると、国府はモンゴルの国連加盟を阻止するため安保理事会で拒否権を行使するかも知れない。国府国民大会代表はすでに十八日モンゴルの国連加盟に反対の意向を表明し、『モンゴルは中国の領土であり、モンゴルの自治は架空のものである』とのメッセージを国連当局に送った。国府の見解を反映する英字紙チャイナ・ニュースも政府に拒否権発動をうながす空気が強まっていると伝えている。

日本の加盟は強く支持

【台北十九日発=共同】国府国民大会は十八日国連に電報を送り、モンゴルの国連加盟に反対したが、十八ヵ国一括加盟案および日本の加盟問題に対する国府外務省筋の見解を総合すると次のようである。

一、国府は日本の加盟を強力に支持する。

一、ただしモンゴルを含めた十八ヵ国一括加盟案に原則的に反対である。

一、一括加盟案は根本的には反対だが、モンゴルを除外した十七ヵ国となれば賛成することもあり得よう。

なお芳沢大使は十八日、日本の加盟問題について外務省に葉外相を訪れ国府の支持を要請した。

【注】国民大会は国民の政権行使の最高機関で、総統、副総統、立法院議員もここから選出される。

原子力研究所復活

三年計画で清華大学に

【台北十四日発中央社=共同】梅貽琦清華大学前校長は清華大学研究院を原子力研究センターとして復活するため、米国から台湾に帰ってきたが、十三日これについて次のように語った。

原子力研究センターは行政院会議で正式決定をまって設立される。三ヵ年に要する経費は約五六十万ドルである。現在米国で原子力を研究中の中国科学者は約二十名で、そのうちから講師として数名を招く予定である。

佐藤参事官ローマへ

日伊通商航海条約の正式交渉が二十二日からローマで開かれるので外務省参事官佐藤健輔氏は十九日午後八時十分羽田発のKLM機で出発した。


【写真は訪日中国教育文化視察団一行、右四人目から銭団長、董大使、松村日本文部大臣……中国大使館邸で】

日本の関係者招き

御礼の晩餐会

中国教育文化視察団が

来日中の中国教育文化視察団(団長銭穆氏)は十七日午後六時半から麻布桜田町の中国大使官邸に、松村文相、金森徳次郎、前田多門、宇野哲人、亀山直人氏ら日本の教育文化関係者名人数十名を招いて晩さん会をひらいた。晩さん会は銭団長から滞日中視察団に寄せられた日本朝野の好意にたいし謝意を表するあいさつの後、松村文相から『教育、文化を通じて日本と中華民国の友好を一層強固にしたい、視察団の方々もお国に帰られたらくれぐれも健康に留意されんことを望みます』との激励の言葉があって懇談に入り、和やかなふんいきのうちに午後八時すぎ会を閉じた。一行はさる十月末に来日、いらい東京、大阪、神戸、名古屋、京都、奈良など主要都市の教育施設、古代文化などの視察日程を終り、二十一日離日の予定である。なお一行は次の九氏である。

銭穆(団長=新亜書院々長、教育部学術審議委員)邱華英(教育部学術審議委員)凌鴻勛(中国石油公司董事長、学術審議委員)毛子水(台湾国立大学教授、学術審議委員)潘重規(省立師範大学国文系教授兼主任、学術審議委員)黒廷英(国立台湾大学教授、学術審議委員)荘尚厳(編纂古物館長)黄君璧(台湾大学教授、画伯)林子勛(秘書=教育部簡任秘書学術季刊及教育興文化週刊主編)

日曜論評

韓国の態度は遺憾至極

韓国の軍部が李ラインを犯す日本漁船に対しては、場合によっては撃沈するであろうという意味の声明を発したのには、われわれはただ唖然たるばかりである。驚いたのは国際慣例を無視したその傍若無人ぶりである。

いうまでもなく韓国側のいう『平和ライン』である李ラインはかつて連合軍によるわが国の占領時代に、マッカーサー元帥が設定した防衛線なのだが、韓国政府がそのまま勝手に線を引いたとて独立後のわが国がこれを認めないのは当然である。公海内に一方的に引いた線内において、わが漁船が操業したという理由で、いままでわが漁船はしばしば銃砲撃を受け現に韓国政府に捕えられている漁夫だけでも六百数十名の多数に上っており、しかも非常に苛酷な待遇を受けている状態であるから今度の声明に対しわが国民がさらに憤慨したのは無理はなく、わが外務省がこの問題を重視して、さっそく抗議的の問合せを行ったのは当然の措置といわねばならない。

今回の声明は韓国の軍部によってなされたとはいえ、同政府に責任があることというまでもないし、今までも韓国政府はたびたび実力行使を唱えてきた事実からしても、今度の軍声明にも同意見であると見なさざるを得ない。

右の声明の中に『日本はいまや共産主義者と同盟することによって、再び朝鮮へ帰ることを希望している』とあるが、これはひとり韓国軍人の日本観ではないようだ。即ち先達て梁駐米大使も同様な談話をしている事実からみても、現在の李政府の一般的な日本観と断じて差支えなかろう。もし本当にこのような言語道断な考え方をしているとすれば、日韓関係の調整はまことに前途遼遠とみて悲しまざるを得ない。

わが国と韓国とは、今さら説くまでもなく、極東において相隣接する同じく自由民主主義の国家であるのだが、この両国の間に深い誤解の溝があって、常にトラブルを繰返すばかりで、一向国交調整の段階に入りそうでないのは何としても遺憾で、極東平和のために寒心に堪えぬものがある。

韓国側が李ラインについてこのように固執して、過激の手段に出る以上は、わが方としては万全の外交手段を講じて彼反省を求めるとか、方針を改めるような方法を執らざるを得ないし、一方わが漁船の保護策についても適切な実際行動をとらざるを得ないであろう。実際この方面におけるわが漁業の沈は、国全体の経済にも大きい影響を及ぼすものであるから政府はこの機会において、国調整を目途とする日韓交渉の開と、今度の声明に対する救策とを併行して進めるべきだと思う。

日本は信頼出来ぬ
韓国紙が非難

【京城十九日発AP=共同】韓国のコリアン・リパブリック紙は十九日の社説で『日本は信ずるに値しない国である』と非難してつぎのように論じている。

われわれは米国も日本は国際的に信用するに値しない国であるという事実に当面するに違いないと信じている。



粋人酔筆

写真禍

吉田機司

宿帳のとおり女中は床を敷き

本紙の川柳欄にあった投句である。若い美人を連れて、福島競馬に行き、飯坂温泉にとまっているところに、東京の女房から電話がかかってきた。

『御主人さまは、ただいま、御入浴中でございます。でも、お部屋の方におつなぎいたしましょうか』

ホテルの来たばかりの女中はこう答えたが、ちょうど夕方の忙がしい時だったので、電話のことを客に話すのをつい忘れてしまった。

次の日、スタンドで、彼女と仲よく並んで見ている現場を、東京から夜行でかけつけた細君につかまってしまった。

『いやはや、さんざん、中年女のカンの鋭さだ、注意しなければならない』こう忠告してくれた親友の実業家があった。

学生のころからの飲み仲間に、婦人科のS博士がある。

このごろのように、猫も杓子もカメラをぶらさげていないころは、温泉地のしかるべきところには、『記念に一枚いかがですか』の写真屋がうるさいほどいた。



鬼怒川温泉駅から川治の方に三、四町行き、左に折れて坂道をおりていくと、滝見橋という吊り橋がある。ここから見る鬼怒川渓谷の紅葉は格別なので、橋の上には、写真屋がいつも二、三人客を待っていた。

『あなた、一緒に撮ってもらいましょうか』S博士と散歩していた美しい女性の声を聞くと、写真屋は素早く二、三枚シャッターを切った。S博士は送り先を書いて、料金を払ったが、住所はもちろん彼女のいる赤坂の芸妓屋の番地だった。

それから十日ほどたったある日、S博士が病院から帰ってくると茶の間の食卓の上に写真の入った封筒が封を切っておいてあった。中身を出してみたら、さも仲よさそうに、笑いながら寄り添っている滝見橋の上のだった。

写真屋が、うっかり芸妓屋の住所を紛失して、浴衣の柄をたよりに旅館に行き、とうとうS博士の住所をさがしあてたせいである。

『ほんとうに、あなたという人は…"からはじまって、"あなたは…あなたは…"と女房に泣かれたのは、お定りの通りさ、十分注意しなければならない』で、彼女はどうした』『それがさ、女房の奴、さっそく芸妓屋に行って、手切金を渡して、どっかへ鞍替えさせてしまった』

こういう事件がおこると、われわれは共産圏諸国みたいに、おたがいに情報を交換して、いたって緊密な連絡をする。私も注意しなければならない。

雄鶏の情痴多彩な朝が来る

これも本紙にあった誰かの川柳である。おんどりが、朝、鶏舎を出ると、まず、声高らかにトキを告げ、それから、つぎつぎと雌を選択していく情景に対する尽きぬ嘆きである。

元来、造物主は、種の保存と繁栄だけを考え、より美しき子孫を、より多くつくらせることのみを鞭撻する。

だから、中年になって、かつては精鋭だった武器が一向にたあいなくなっても、美しくて、大いに妊娠の可能性ある新鮮な刺激物に遭遇するや、たちまち毅然として立ち向うことになるのである。——奥さんがた、どうもすみません。

地獄耳

安井知事立候補説

東京一区は安藤正純氏が亡くなったので、野村専太郎氏が"今度こそは我輩の返り咲きも確実だろう。他に大物が現われなければよいが…"と朝晩念じていたらしい。何しろ首相や安藤氏のような大物長老級が現われサッパリ目が出ない。今春浅沼稲次郎氏と一万四千開いて落されたとはいえ、六万三千余票も取って次点首位、そんじょそこらのタケノコ候補と同列に扱ってもらいたくないという気位もあるのだろう。ノホホンと構えていたら、

野村氏を驚ろかす

突如、安井誠一郎氏が"安藤氏の後釜を狙っている"との情報あり、郷里(岡山)にでも帰ればよいのに、黒田寿男氏のような大物でも落選するほどのツブ揃いだから、この際いっそのこと馴染深い東京からということらしい。安井氏のアトには花村四郎氏を立てようという内議が着々進められている。花村氏はどうなろうとかまわぬが"安井知事出馬"とあっては"これは一大変事だ"とばかり、野村氏はビックリ、シャックリ。

内外抄

社会保障六ヵ年計画で老齢年金も実施とは計画だけは立派。雀の涙ほどでも老人は有難涙。

◇

血清事件は血清自体に欠陥があるらしいとのこと。この際思い切って"血の粛清"に乗り出せ。

◇

北鮮邦人の送還に、日朝協会の出迎えを交換条件とすること、分らぬようで、よく分っとる。

◇

ブルガーニン首相はガンジーの墓に靴を脱いで額ずいた。芸の細かい千両役者、人気も心得てる。

ないがい川柳

吉田機司選

洗濯機タンスの脇へ先ず飾り 川崎 小宮せいじ
宿帳は妻になってる踊りの娘 中野 高野芸太郎
君も来ていたかとヌード撮影会 文京 木村いつ秋
マンボ今女ではない赤い柄 市川 川崎火呂志
二代目の能手は小さい酉の市 北 松本いはを
へボ猟師村の鳥屋が待っている 新宿 斎藤耕月
初恋を知った日記の置き所 新潟 伊藤蘇子

青春無宿

大林清 作
下高原健二 画
(194)

虹への道(十一)



ソロジェムは顔色を変え、眼をみひらいた。深川の飛行場で拳銃をふりかざして逃げて以来の対面である。追いつめられたような表情をその顔にうかべたのも無理はなかった。

次郎も棒立ちになったが、視線と視線が火花を散らしたのはほんの一瞬で、いきなり躍りあがるようにしたソロジェムの一撃が、次郎の顔面を襲った。

次郎は身をかわすと、鼻先を流れるソロジェムの腕をとるなり、逆にひねりながら投げ飛ばした。次郎が警戒したのは、ハロヌークの右手が取り出す拳銃だったが、そのハロヌークは外へ走り出ていた。

起きあがったソロジェムは、逃げ道を次郎に塞がれているのにやぶれかぶれになったらしく、体当りで次郎へ突進して来た。次郎はよけそこねてよろめいた拍子に、入口のガラス扉へ背中をぶつけたが、勢いあまったソロジェムは床の上へ一回転した。

その時、次郎が見たのは、舗道から殺到して来る数人の警官だった。

次郎は素早く壁際へ身をよせた。

躍りこんで来た警官は次郎に眼もくれず、ちょうどその時起きあがったばかりのソロジェムへ飛びついた。

ソロジェムは狼狽して、警官を突きのけると、まっしぐらに客席の方へ走りこんで行った。

次郎はそこまで見て、玄関を外へ飛び出してしまった。ソロジェムを追うのに懸命になっている警官は、次郎への注意を怠っていたらしい。

次郎は足早に舗道をあるいて、"マンダリン"を遠ざかったが、幸いなことに誰も追って来なかった。誰が一一〇番へ電話したのか、皮肉にもソロジェムは、駆けつけた警官に追われる結果になったのだ。

土橋通りからまだ店々の明るい銀座通りへ折れ、通行人の中へまぎれこんでしばらく行くと、いきなり声をかけた男があった。

『今晩わ』

と、ギターをかかえたその男は、堂本と組んで流していたアコーデオンを持った男だったが、それは模ではなかった。

『どうしたんです、顔色が……じゃありませんか』

堂本に不審そうにきかれ、次郎はまだはずんでいる呼吸……た。今更のようにかえりみ……のは、ソロジェムやハロヌ……り、警官を怖れていた……た。身に疚しい点は何もない……が、ヴァルマンらとの関係……

されれば事は面倒になり、再会はそれだけ先へのびる……の間に光代の運命も決して……だろう。

次郎はただ会釈しただけ……本たちから遠ざかろうとし……

『あなたにはいろいろ御面……けた榎が、田舎へ帰って結……ことになったそうです。荷……とめて送ってくれって云っ……んで、明日奴の家へ行くつ……す』

堂本の意外な言葉が、……うとした次郎の足を釘づ……た。

『誰と結婚するんです』

『さア、そこまではわか……が、光ちゃんのことはあき……らしいですよ』

堂本はどうにもならない……風に首を振ると、相棒を……てあるきだした。

きょうは二の酉
よもやまばなし

○…きょうは二の酉…"苦しいときの神頼み"は、これ人情の然らしむるところとあって、お互い笑うわけにもいかないが…
○…それなればこそ、そぞろ師走風の近い気忙しさに追われて、商売繁昌を願う人々は一の酉についで引きも切らない。お
○…酉さまに詣でる人、その人間で稼ぐ人、ここにもせせこましい浮世の断層があるようだ。そんなアレコレの表情とコボ
○…レ話を東京は下町浅草と山ノ手新宿から拾って描いたこれは『お酉様綺譚』―つまり庶民の景気打診というところ。

食堂、旅館ホクホク
"フトコロはダメ"とスリ君

浅草　○…大鷲神社の一の酉は戦後最高の人出で、ザッと百五十万というにぎわいだった。人出のあるところ、必ずスリがつきもの。浅草署に届出た被害はこの日三十件、うち八件が捕まり、三件は空財布となって戻ってきた。ところが、その一つにチャンと千円札一枚が鎮座ましまして、下手なスリの手口をアザ笑い顔。ということは、即ちスリの方がかせぎに追われたのか、人の懐に千円札があり余っていたのか。ところが同署に挙ったあるチンピラ・スリ、"お酉の三太"てな面構えで『いや、しけてまさァ　待ってるのはおさい銭程度で、こっちが狙っただけの額。いや全くのお手あげです』ということは結局、それほどの不景気なればこそお酉様にあやかろうとの人波だったというわけでもある。

○…稼ぎ高の筆頭は、そこら辺の旅館群であるらしい。何となれば栃木、茨城、群馬の各地方から一泊予定でワンサ。そこで日ごろ八百円程度の安宿も、千円に値上げしてそれでも結構客足は絶えないとのこと。ご休息の方も、娘たちが"売れ残りませんように"と祈った甲斐あってか、その足で手ごろな青年と仲よく旅館にシケ込む図が多く『時間取りのお部屋は夜十時過ぎるとお断りしてます』とはあるお女将の話。タクシーも都内の七割くらいが、どっとここに集中され、三十分に約千五百台が神社を往復している。（浅草署交通課談）不思議と事故が起らないのは、七十円、百円と小刻みで稼ぐ [illegible] 早くて商売になりませんワ…』とボヤき、熊手で掻き集めるほど景気はどこへやら。これに比べるとさすが食堂と喫茶店は強いようだ。

○…ところで、国際劇場通りに沿って並んだ熊手売りは約二百軒、さぞかし売れることじゃろう…と聞いてみると『大体一軒で二、三万円がとこの熊手を仕入れ込んでいますが、縁起もんですから買うってのは、毎年決ってまさァ。一の酉で拝んで二の酉で買うか、一の酉で買って二の酉で拝み直すってなもので、出る数は決っています』と割切っている。従って二の酉までの年はいいが、三の酉まで [illegible] なると、かえって一日千円 [illegible] 雇うバイ人の食費から酒 [illegible] 計にかかって、儲けがうすい [illegible] こと。

○…肝じんの神社の懐ろ具合となると、これまた渋い。一の酉の人出は百五十万と踏んでも [illegible] では六十万程度とケズリ [illegible] 銭の上りもムニャムニャ [illegible] 始末。勝手に押しはかったところでは、まずおみくじが十円 [illegible] が去年より十円値上りして [illegible] とあるから、軽く三百万円 [illegible] き"となった勘定。が、[illegible]『いやいや、人出とおさい銭は関係ありませんです、つま [illegible] 多いとそれだけ神社に近 [illegible] いでありますじゃろ、す [illegible] いありませんよ』[illegible]


景気を呼んで賑わう浅草酉の市

好んでお茶引く女
この日は亡夫の思出だけ

吉原　○…この日ばかりは新吉原も、一人としてお茶ひく女がいないといわれるほどのカキ入れどき。だが京町二丁目特飲店のU子だけは毎年お茶をひいている。そして吉原女が総出でくりひろげる客の争奪戦にも加わらず、朝まだき大鷲神社にお詣りしたままの正装で一人静かに自室に引きこもっている。

○…彼女には戦時中職場で結ばれた相思相愛の夫Tさんがあったが、終戦後メチール禍にあって、両眼は日中しかその用をなさなくなってしまった。満足な治療も加えられないまま、師走の風ももうすぐというある日、街に出たTさんは行きずりの男にぶつかり倒されて頭を強く打った。ところがここに不思議なことが起った。翌朝フッと眼を醒ましてみると、オボロにしか見えなかった神棚がはっきりと見える。ちょうどその日は二の酉だった。今様"壺坂霊験記"と近所の評判にもなり、U子がお酉さまを信心するようになったのも、このとき以来だった。だが喜びは長くつづかなかった。Tさんは二十二年四月脳溢血でポックリ他界してしまった。

○…U子が吉原に姿を現わしたのはこの年の十月からだった。デフレの風はこの吉原にも襲い、U子の勤める店の主人も対策に窮していた。そうしたある日店主に『これ使って下さい』とU子は包みを差出した。みれば銀行の預金通帳、なかには細かく貯めていった預金がメて八十余万円。息を呑んで驚きの眼をみはっていた店主の頬に、やがて一すじ、二すじキラリと光るものが糸を引いた。折から人出に賑わう一の酉のざわめきが二人の耳をついてきた。U子はこの日寝起きと同時にお酉さまにお詣りを済ませてきたのだった。

活躍した姫君たち
『人波だけで』と嘆く商人

新宿　○…『今年のお酉さまはトンとだめですねェ』新宿の大鷲神社周辺の商人たちはがっかりした面持で、一様にこういう。一の酉に九万という人波こそ平年よりはげしいが、落ちた金はほんのチョッピリ。『いつもなら、平日の倍は売上げが違うのですが、今年はそれをちょっと上回ったかな、と思う程度ですよ』神社わきの食堂の親父さんは心細い顔。『今年は熊手を買う人がバカに少いですね。例年だと道を歩く人の大半が熊手をかついで行くのですがね』これは隣の果物屋のお内儀さんの弁。不景気風は"不夜城新宿"にも変りなく吹いているようだ。

○…裏に回って二丁目赤線区域のお巡りさんに打診してみると、『人は出ますが、女連れ、家族連れが多いので、ここはほとんど影響ないようです。ただ、酒を飲んだ若い者がいつもより幾分多いと思った程度です。酉の市と遊廓とはあまり結びつかないと思いますね』ところが、このお巡りさんの言葉と裏ハラに新宿界隈の夜の姫君は相当な活躍をしたらしい。これは商運？　つたなく一の酉の当日お客をキャッチしたところで捕まった姫君――の話だが。――四谷三光町の花園神社に毎夜現われるA子（二〇）はこの日も絶好のかせぎ時と境内に立っていたところ、熊手を肩にした酔っ払いが現れた。袖を引き交渉を始めたとたん、お酉さまの人出で厳重警戒に当っていた四谷署員に挙ったというわけ。彼女、以前は深川洲崎の赤線に出ていたがもっと金になるところを……と洲崎を飛出し、新宿旭町のドヤ街に落着き、神社境内を稼ぎ場としていた。ところが九月以来、現行犯で捕まること十数回『折角のお酉さまに捕まるなんてよくよく運が悪い』とボヤいている。

湖底の財宝

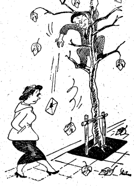
珍習奇習　ビルマ

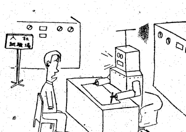
火葬、土葬、風葬、水葬と葬式の方法はいろいろあるが、ビルマの湖葬というのは恐らく世界に類のないものではあるまいか。これは特定の大富豪といわれる人達だけの話だが深い湖の底は何者にも汚されない幽遠神聖の場所と考えられているからである。また富貴の人たちは速かに彼の死と共に財宝の一切を沈めなければならぬものと信じられているからであり、財宝が多ければ多いほど死体も早く深く沈んでいくわけで、つまり冥土に早く到着できるという次第。それじゃ永久に浮ばれないではないか…などと考えるのは、極楽が天上にあると信じているわれわの勝手に他ならない。

とにかく、ビルマの底知れぬ湖の底には、幾年も幾年もかかって積み重なった莫大な財宝が秘められていることになる。その通り一寸きいただけで気の遠くなるような宝物がちゃんとそこに存在しているのである。勿論これらのビルマ人は、宗教的な理由から、けっして湖底の財宝を盗み出そうなどとは思いもしない。なんと勿体ない風習ではないかと、そこで、欲張りのあるアメリカ人が、引揚げを画策したが、現代のいかなる潜水術を以てしても、湖の底を探ることは出来ないことが判った。（作）

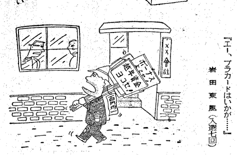
漫画日展

◇投稿歓迎◇　▽締切日なし▽発表は日曜（本欄）と木曜（三面）▽優秀作品には特選の制を設け入選十回または特選三回パスの方には『特別会員』として随時『課題』などで活躍していただくことになりました▽なお特選には特賞、入選作には賞金を贈ります。

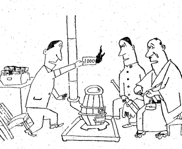

落葉の候　山中鹿夫（初入選）



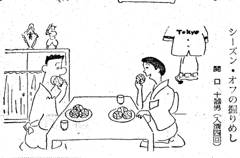
オートメーション時代　『こらんのように人間はあまり必要ないんでネ……』　さかま四郎（入選三回）



シーズン来る　『エー、プラカードはいかが……』　岩田東風（入選七回）



ストーブ・リーグ始る　『ア、どうぞ、どうぞ』　白吉辰三（入選五回）



シーズン・オフの握りめし　関口十器男（入選四回）



◇◇オネストジョン◇◇
◇◇スタイル◇◇

○…これは新顔のファッション・ショウの一齣。したがって、ソサイティ・チルドレン・コスチューム・クラブの子供たちが主役であるべきはずでありましたが、お添物の大人のモデルがサッソウとし過ぎて『こんなオネスト・ジョン・スタイルはおかしいんじゃないの？』とベソを掻いてみたり、しがんでみたり。三才と六ヵ月のビクトリア・マンクロフト嬢はマンクロフト卿の令嬢で、この日が初舞台でした。【写真はキーストン特約】

モダン歳人記
天才一葉の恋人

[illegible] の名作を生んだ彼女が男を [illegible] ないというのは、やはりおかしいことかも知れない。（鮭）

世界風流譚
……（アメリカ）……

タイム・イズ・マネーの金科玉条を守り抜いて、今や百万長者となったポプキンス旦那、金が出来るとまず第一に欲しくなるのは邸宅、これも新らしく建てたのでは損だと、適当な売家を散々叩いて手に入れ、家具調度もそれにふさわしいものを仕込み、社交界へもなんとなく顔を出すようになると、どうしても必要なのは若い女性です。若い時から苦労してきた妻は、顔よりも何よりも健康と仕事と倹約でもらった妻ですから、今更腕を組んで社交場に出るのは寒気がして『この俺という男は、なんて美の観点が欠けていたか』と、急いで愛人さがしにかかりました。然し女性というものは、帯に短かしタスキに長しの通り、こっちがいいと思っても向うは嫌、結局は金に物をいわせてまあ一人を見つけましたが、この女のぜいたくなこと、さすがの旦那も手を焼いて『ねェ、マリー、お金は働かねば出来んものだよ』というと彼女涼しい顔で『判ってるわよ、だから私はあんたの他にマックにも勤めてるのよ』

あすの運勢
―十一月二十一日―　高島象山

▲一月生―家庭円満にして事業明朗に進展栄達あり開業就職結婚吉
▲二月生―不用意より意外の災禍にあい易い外出を慎み怪我を注意
▲三月生―物事思想浅薄に流れ失敗を招き易い酒色の道を注意せよ
▲四月生―何事も盛大に発展の義有積極的に活動せよ開業結婚大吉
▲五月生―物事姑息に流れ或は粗略に失し自ら失敗を招き易い注意
▲六月生―物事に気迷い起りて邪正善悪の見分けもつかず失敗招く
▲七月生―何事も光明に接するが如く漸次栄達あり開業就職結婚吉
▲八月生―幾多の障害が起り辛苦災厄を招来し易い婦人は痴情起る
▲九月生―何事も危険より失態あり剛情より信を失うなり注意せよ
▲十月生―経済運旺盛で自信ある事に向えば利達栄進する移転よし
▲十一月生―浅薄なる思想は災禍を醸る身内親類に病気不幸心配有
▲十二月生―稼業は無事なるも身内親類に心配あり家庭に不和注意

東海毒婦伝
青とかげ　(135)
野沢純　土端一美画

お幾の茶屋（六）

『つつまず話さず、何もかも、打ちあけておっしゃって下さいましよ。帯の中に、鞘のない抜身の匕首が入ってましたが、あれは一体、どうしたわけでございますえ？』

訊かれておりうは、ほんの暫くいいよどんでいたが、

『あれは箱根を越える時、峠路で拾ったの』

『どうしてそれを、お持ちになっていたのでございます？』

『どうって……途中、狼でも出たら怖いと思ったから、用心のため持っていただけよ』

『そして……その匕首は、どうなさいました？』

まるで母親がわが子に訊ねるような口ぶりだった。

『寒の川へ捨ててしまった。――だって、ここへ来れば、もう用がないもの』

とっくりと念を押しておいて、

『もう一つ伺わせていただきますが、あなたさまのお召物に――いえ、いつぞやの血のことではございません。裾に大そう草じらみ（ぬすびと萩）が付いておりましたが、あれは一体、どうしたわけでございます？』

『……』

いわれて思わずどっきりと、黙るおりうへ、お幾は更にたたみかけた。

『ご存知のように、箱根街道筋は、駕籠も通れば馬もあり、お大名方の行列もございます。草じらみが裾に付くほど、せまい道ではございません』

『……』

『お嬢さま――もしや、あなたはお関所道を避けてお通りになったのではございませんか？』

まるでピッタリ図星であった。

『本当でございましょうね？　その、拾ったとおっしゃるのは？』

『ほんとよ。どうして？』

『……』

その顔を、お幾はしばらく、じっと穴のあく程見つめていたが、やがてほっとしたもれ息と共に、

『お嬢さま――いえ、お銀ちゃん。あの匕首こそ、実は箱根峠で人を殺した凶器だそうでございますよ』

おりうは黙って答えない。答えられないのである。お幾はなおもあとを続けた。

『その証拠には、一度鞘に納めてしまえば、とうてい消えないはずの血糊の脂が、ちゃんと残っていた上に、庚申堂に落ちていた、鞘にピッタリ合っているとか』

いいさして、こわごわと、おりうの眸を覗き込みながら、

『匕首を、ただお拾いになっただけなら――それならそれでようございます。いいえ、はじめからお嬢さまには、何のかかわりもないことは、誰よりもこのお幾が一番ようく存じてはおりますが、万が一――ということもございます。あらぬ疑いなどかけられてはつまりませぬ故、あの匕首を拾ったことも、また捨てたことも、決してお口にはお出しなさいますなよ。よござんすか。わたしもすっかり忘れます。ようござんすね』

『……』

何といっても黙っているおりうに向って、お幾はじりじりしたように、

『もし、お嬢さま――あなたさまは、お関所の通行手形はどうなさいました？』

問いの角度を変えてみた。

『え！　どうなさいました？』

『途中で何処かへ落してしまったの』

母親に問いなじられでもした時のように、はじめておりうは、ぽつりと答えた。

『それで？　どうなさいましたえ？』

『仕方がないから、裏道を抜けて来たの』

『えっ……まあ……』

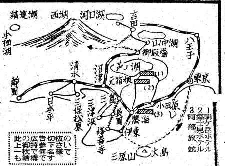
お幾は思わず吐息をもらす。

『入り鉄砲に出おんな』という程、箱根の関所で、とりわけ吟味のうるさいのは、東海道から江戸へ入る武器の通過と、江戸から出て行く女の調べだ。

江戸詰大名の女房は、そのまま幕府の人質だからだ。それ故うるさい。

町家の子女でも、旅に出るには、地元五人組や名主からの特別な『通行手形』がないことには許されない。それを犯せば関所破りの大罪を犯した事になる。お幾は見る見る蒼くなった。









話題の人 その後

あとを絶たないビッグ・ニュースの主人公はその後どうしているだろうか。流血騒ぎまで起した砂川問題も来春まで"冷たい休戦"こんどは中共、ソ連、北鮮からの※"ダモイ"が続く。そこでこの半年、クイズ時代、基地、引揚ニュースなどに登場した"話題の人"に焦点を合わせ、その後の動静を探ってみた。

記者攻勢に面食う
"もうクイズは懲りごり"……と
16万円娘の中山翠さん



クイズの女王中山翠さんと円内数右衛門

日本版"百万ドルクイズ"といわれるニッポン放送の"十六万円クイズ"に見ン事初の難関を突破、クイズ狂時代の女王となった早大文学部女子学生中山翠さん(二〇)=中野区上高田一の三二七=は一躍ジャーナリズムのフラッシュを浴びその騒がしさにヘキエキしてか人目を避けてあれ以来江古田の親せきの家に退避の形。難解な問題にがっぷりと取組んで押切った"十六万円娘"だけにタフな容姿が想像されようがご本人は案に相違の小柄でスポーツ服のよく似合う小柄のお嬢さん。しかし眼のフチ辺りに報道関係者の質問攻めのためか喜びの中にも疲れがみえる『唯あれだけのことなのに、あんまり騒がれたんで気持が落ちつかないんです』とうつ向いたままいう。

『あれから神経衰弱気味ですからどうかお手やわらかに……』と傍から叔母さんの助言が出る。翠さんとすればスポーツが好きだから簡単な気持でクイズに応募しただけで、その反響の大きさには、クイズとは逆にまったくめんくらった形というところらしい。

クイズ解答のコツを聞くと『なにもありませんわ。ただ好きなことだからよく知っていただけ』と言葉少ない。一番難題だったと好球家たちもいっていた第三週目の第八問"ことしの野球界をふりかえって、次に申し上げる試合で、ウィニングボールを手にした選手は誰か"の問題も『ちゃんとその試合を見たり、聞いたりして知っていただけだったので』とやはり平凡。出題者の林髞先生の感じは学者らしい思いやりがあって、とてもよかったそうだ。彼女、よほどさわぎが身にこたえたのか『金輪際もうクイズには応募しません』とキッパリいう。しかし、最後まで難問に挑戦した勇気はノイローゼ気味の今の心境に明るい笑顔をとり戻すのにそう時間はかからないとみた。賞品のスクーターは自宅にホコリをかぶったまま らしい。

"これでも詩人だんべ"
名言ズバリ『心にクイは打たれない』
砂川の青木行動隊長

一筆測量を終えた砂川町はいま"平和休戦"下に忙しい。遅れた麦まきも無事に終り、陸稲の調整やら麦の土寄せ、追肥やら……。その上をグローブマスターの巨体[illegible]

十四日、骨格測量がすんでくやしいと娘っ子がワイワイ泣き出した。そのときワスがヒョイと口に出た言葉がこれだよ。詩人だんべ。アハハ…』と笑う。

[…]たのはこの人だ。『あれは九月[…]"心にクイは打たれない"のスローガンを作[…]



青木行動隊長

日市街道をワッショイワッショイデモるんだ』と全国をまたにかけ[illegible]

閉じ籠り面会謝絶
慎重な中村翫右衛門

[illegible]

見たい芝居見物もまだ遠慮しているという。春子夫人(四七)とともに吉祥寺の前進座寮に引きこもり、座員や家族と思い出話に花を咲かせたり、北京から持ち帰った京劇の文献を整理したり、古い歌舞伎の本もじっくり読み返している。雑誌社などの原稿依頼やインタビュー申込みも毎日のようにくるがみんなお断り『とにかく不起訴が決るまでは』と奥さんは逃げ回っている。

三年の空白は大きい。翫右衛門が去ってからの前進座はそれまでの日共宣伝やカンパ集めのアジプロ演劇から、二十八年春の『寺子屋』を機に百八十度の大転換、歌舞伎一本の精進となった。大劇場進出を目標に長十郎以下の血の出るようなけい古。同座を訪れた劇評家たちにも名古屋、京都などの大劇場公演はつぎつぎ実現した。ところがこの大切な時期に翫右衛門は北京にいた。前進座の変革にいわば彼は無縁だったわけだ。だからいまはおくれをとり戻すに必死の勉強、半年やそこらで立直るかどうか心配する評論家もいる。

『歯が出ろといったら出ます。ただ一年ぐらいは勉強したい』というのが翫右衛門の心境のようだ。

恋人の枕元で服毒自殺
男と上京 結婚に反対され悲観

二十日午前二時ごろ港区芝浜松町三の一加賀屋旅館=経営者鍛冶いのさん(六四)=方二階四畳半間で十七日夕刻アベックで投宿中の石川県金沢市長坂町二九七無職水橋ひろ子さん(二二)が殺虫剤ホリドールを飲み苦んでいるのを連れの同町一一六農業小松博さん(二五)が発見東京病院に収容したがひろ子さんは同二時半ごろ死亡した。愛宕署の調べではひろ子さんと小松さんは恋仲だったが、両親が従兄妹同士の結婚に反対のためさる十五日しめし合せて家出、ひろ子さんはそれを悲観して就寝前小松さんに『あなたは長男だから田舎へ帰りなさい』といい残して自殺したもの。

興安丸の出港遅延
こじれる華僑逮捕問題

[illegible]

レールボンド六百余本盗む

[illegible]

川、八王子方面で六十数件、約六百七十本のレールボンドを盗んだことを自供した。

青梅街道で三重衝突 二名重傷

二十日午前二時半ごろ中野区本町通り五の一七先青梅街道で新宿方面からきた駐留軍中型トラック=府中フィンカムB基地勤務丸山謙一郎運転手(二五)=が左折し[illegible]





池袋に連続放火四件

昨夜国電池袋駅付近の商店街で一時間足らずの間に連続四件の放火事件が発生、何れも悪質な同一犯人の仕業とみられている。二十日午前一時五十分ごろ豊島区池袋二の七二八プロマイド屋丸山藤栄さん所有の新築建物内から火が出ているのを付近の人が発見、羽目板一坪半をこがした程度で消しとめた。

ところが約三十分おいた同二時半ごろ同区池袋二の八六八、三原菓子店=経営者齊藤助治さん=方裏手の窓にかかっているよしずに火をつけたものがあり続いて隣接の美宝堂時計店=経営者増田清さん=方裏手の羽目板にも火がつけられ何れも発見が早かったため羽目板若干を焼いただけで消しとめた。さらに同三時ごろ同区池袋二の一一四五末広旅館=経営者本間かねさん=方竹塀にも火をつけられたが約一坪半を焼いただけで大事に至らず消しとめた。池袋署の調べでは犯人は何れもボロまたは紙屑に石油をしめし放火したものらしく四ヵ所とも池袋駅を中心に二百米以内の距離なので同一犯人の悪質なイタズラとみて捜査している。

荏原で工場焼く

二十日午前六時ごろ品川区荏原五の三〇三三栄建設株式会社=責任者隅田三郎さん(四五)=工場から出火、同木造平屋工場一棟六十坪と木造モルタル平屋住宅四十坪を全焼して同六時四十分ごろ鎮火した。荏原署で原因調査中。

熱帯の味 パインアップル



伊豆半島南端の南伊豆町石廊崎にある静岡県立有用植物園ではバナナ、パパイヤとともに、こんどはパインアップルが黄色く実のり観光客の目を楽しませている。同園では高温暖地の南伊豆に熱帯、亜熱帯植物を移植し産業開発と伊豆国立公園にふさわしい景観を造り出そうと八百余種類の有用植物を五ヵ年間にわたり試験研究した結果、ヤシ、つばき、アカシア、木麻黄、ユーカリ、その他実用化に適した熱帯植物を南伊豆海岸一帯に育てる計画をたてている。(下田発)

【写真は静岡県立有用植物園に実ったパインアップル】

行田で足袋会社倉庫

【浦和発】十九日午後十一時ごろ埼玉県行田市佐間一八山吹足袋株式会社=社長小林金男氏=方倉庫から出火、同倉庫住宅二棟七十坪を全半焼、足袋材料などを焼き同四十分鎮火した。損害約七百万円原因は漏電らしい。



悦楽の境地を天国まで延長
献身的サービスに愛人トン死

これは腹上死した男の話—数日前の朝のこと、品川区小山台二の一四二アパートA荘に住む楢山きみさん(三三)=仮名=が荏原署に出頭『ゆうべ泊った愛人が突然苦しみだし、医者を呼んだが間に合わず死んでしまいました』と届出た。死んだ男は千葉市長須町の著述業安田浩一さん(三五)=仮名=で、調べたところ服毒した様子もなく、死因が判らないので解剖したところ、心臓マヒとわかった。きみさんは係官にその時の状況を聞かれると、ただ顔を赤らめてもじもじするばかりだが、枕元にはそれとわかる物があるので、係官が追及したところ、結局きみさんが久々に訪れた男に献身的なサービスをしたので、心臓マヒで安らかにそのまま天国へ昇っていったものであった。

冒険小説狂か
机に"X"の文字
女優宅に怪盗



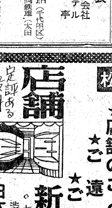
八千草薫さん

『乱菊物語』『宮本武蔵』出演中の東宝女優八千草薫さん=世田谷区成城町七六=が十六日早朝、風変りな豆ドロ?のご難にあった。豆ドロといっても変な方に気を回さないで下さい。成城署の調べによると、このドロさん同日午前五時ごろ八千草さん宅応接間のガラス窓を焼き切って忍び込み、家人の寝静まっている隙を狙って奥の間の仏壇からミカン二個、チョコレート一個とサイン帳一冊を盗み、応接間のテーブルの上に"X小僧"と書いた紙片を残してゆうゆうと退散したもの。八千草さんはファンのいたずらにしてはタチが悪いと気味悪がっているが、成城署では冒険小説マニアの子供の仕業ではないかとみて、捜査をすすめている。

娘にヤキ、留置場で全スト
かけ込み便所に先客のズベ公

十八日夜八時ごろ台東区上野車坂の会社員宮本君子さん(二三)=仮名=は会社から帰宅の途中生理的な要求を起しがまんしきれなくなり、上野駅構内の公衆便所にかけ込んだ。少し辛抱していれば事は起らなかったが、よほどセッパつまっていたとみえノックもしないでやにわにドアをグッと開いてパッととび込んだ。すると先客の住所不定無職松村良子(二一)というヘップバーン刈り、マンボスタイルのズベ公がいて烈火の如くキャアキャア声をあげて怒り、謝る宮本さんの胸グラをつかまえ『ノックは無用とは、海の向うの話だい』とばかりはいていたサンダルで宮本さんの頭部、顔面を殴りつけ全治二週間の傷を負わせかけつけた上野署員に傷害現行犯で逮捕された。このズベ公留置場でもイカレぶりを示し、全裸になってズロースを細く破りヒモのようにして首にまき自殺するふりをして看守を驚かせたさらに『淑女はどんなときでもたしなみを忘れちゃいけねェんだ。だからよう、ちょっとヤキを入れてやったんだよ』との姐御ぶりに係官の手をやかせている。





ネンネコ・ファン

◇テレビ時代だそうである。猫も杓子もテレビに見惚れ、キング・コングとかオルテガと友達にでもなったような錯覚を起し、お風呂屋で『今日のキング・コングはだらしがねえや』と得々と話している。この写真もその一風景—大宮駅前付近で写したのだが、北風が吹き初めたのにご苦労なことである。鶴のように首をのばすもの、自転車を踏み台にするもの、さまざまだが、ネンネコを着ているお父ちゃんにはちょいと泣かされる冬のプロローグだ。

◇さて海の彼方アメリカではテレビが普及され、都会地では殆んど二戸に一台の割であるという。もっとも中共ではいまだにテレビがなく日本をうらやんでいるそうだが…それにしてもラジオと同様家庭に一台のテレビが備えつけられたらこんなお寒い風景はなくなるだろう。(完)

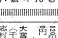
冬のプロローグ ⑩

独眼灯



○…男娼不覚の死—十九日夜十一時五十分頃港区三田綱町一男娼"お大"こと岩城大太郎さん(五四)は国電上野公園口付近で客を漁ってフラリフラリしていたが誤って七尺下の国電線路ワキの溝に転落後頭部強打で即死した。

○…上野署の調べによると岩城さんはふだんから大酒飲みでこの日も客を一人とりそのアガリで好きなチュウを飲んだまではよかったがスッカリめいていし、天国行となったもの。



【川崎】 第十三回の川崎競馬(県営)は二十一日から六日間正午発馬で開催されるが今回は全競馬関係者から注目される全日本三才優駿、全日本アラブ争覇の両レースが行われる。▽全日本三才優駿(三日目)=中山の朝日杯にも匹敵するレースでラツキーマミー、クレミント、コスモライト、カブトなどが有力視される▽全日本アラブ争覇(六日目)=ギンパイ、フレッチャー、サチアヅマ、シュンポーの諸馬が候補にあがっており、妄りに予断を許さないものがある。▽サラオープン特別(五日目)=イチサチホマレ、ハクゲキ、タカオーの順。▽アラブオープン特別(四日目目)=ノブタカ、ダイゴオー、オーパトップの順に期待できよう(松本)

あすのスポーツ △野球 日本産業対抗=全鐘淵高圧対北炭夕張、日本生命対大昭和製紙、三重交通対トキコ(九時 後楽園)関東高校(一時 神宮)△体操 全日本学生選手権(金沢)△アイス・ホッケー 東京五大学慶対立、法対中(五時半 後楽園)三大学早対日(九時半 後楽園)△全日本ローラー・スケート選手権(八時 後楽園)△柔道全国鉄鋼(小石川講道館)△競馬 川崎

東京競馬四日目成績(府中競馬場) ◇第一ア(千二百)①ノルニオー(坂本)1分17秒1②ヒハヤ③ダイオー(単)300円(複)100円100円100円(連)④—⑥400円 ◇第二サ(二千七百)①ヒシマサ(本田)3分5秒0②ブルレット③ショウトク(単)230円(複)110円110円(連)①—⑤330円 ◇第三サ(千)①キタノオー(勝尾)1分0秒4②トツカン③ヤングシップ(単)100円(複)100円140円(連)④—③260円(重)④—①—④800円 ◇第四サ(千二百)①トキワミドリ(勝尾)1分14秒4②オーエスビー③ワコウ(単)280円(複)120円140円230円(連)⑤—⑥[…]0円

大宮競輪最終日成績 ◇第一B(千五百)①柳橋幸2分15秒3②志村武③大島静(単)100円(複)130円100円200円(連)①—③1180円 ◇第二B(千五百)①折原富2分16秒1②圧司成③小島秀(単)100円(複)100円140円100円(連)③—⑤570円 ◇第三A(千五百)①下川邦2分8秒5②宮川猛③竹島昭(単)520円(複)390円、無投票、無投票(連)⑤—⑤9050円

松戸競輪三日目成績 ◇第一B(千)①田中豊1分23秒4②吉島一③大塚貞(単)150円(複)130円140円160円(連)③—①600円 ◇第二B(千)①児島良1分24秒5②菅沼利③矢口朗(単)特70円(複)210円190円190円(連)②—①1030円 ◇第三A(千)①西村勝1分20秒3②高島国③大川光(単)100円(複)110円280円110円(連)③—⑤1320円 ◇第四A(千)①二見昭1分22秒6②岡田英③島崎健(単)520円(複)200円160円230円(連)①—⑤2320円

ABCクイズ懸賞発表

正解 A—雪 岩田建装工業株式会社 / B—花 目白文化ホテル / C—竹 泉亭

当選者—(敬称略)
A賞 ペテロ超小型カメラ 藤井焠(千代田区)
B賞—ワイシャツ靴下 広瀬正夫(北区)笹岡鉄雄(大田区)田中千代之助(渋谷区)
C賞—サンクロン(細胞賦活剤二五CC入) 藤井伍郎(荒川区)菅野正嗣(世田谷区)古川尚子(目黒区)渡辺康夫(北区)永田哲(松本市)渋谷忠雄(川越市)山川精一(豊島区)

第三回箱根ご招待当選者

本紙愛読者サービス『箱根路一泊の旅』第三回当選者次の通り。なお旅行日は来る十二月一日。
△片岡淳=世田谷区烏山町一八七△前田栄一=台東区鳥越二の一九△吉永守=中野区大和町二五七長田方△梅山きい子=埼玉県北埼玉郡大利根村原道△鴨原しげ=浦和市上木崎四八七四△松信正策=足立区長門町二四九△後藤珠子=葛飾区高砂町四九一△高橋芳三=板橋区上赤塚町七二七△島田貞治=豊島区池袋一の五一二△金子一郎=港区麻布六本木町一九△高橋三枝子=中野区新山通り一の一三△細田津留=新宿区原町三の二九△鈴木津=中野区本町通五の三二△日下千代子=品川区西中延一の二〇五△高松亜雄=世田谷区代田二の七九八△万谷ヒロ子=南多摩郡町田町原町田一〇九一△森武彦=杉並区阿佐ケ谷二の五五八△草深よし雄=杉並区方南町六七△渡辺義一=川崎市下並木六一渡辺方△田代みのる=横浜市西区北幸町二の四七(敬称略)



続 情炎の千代田城

岩崎栄　寺本忠雄画　(305)

伊豆の春 (七)



のアマ! かんべん出来ねえっ」

も一人が、

『おい、そこな座がしらとやら、来いッ。女めをつれて来て、ダルマ親分の前に土下座あしろい』

ところが、舞台では、八百定、千代太郎、お静の三人が、真正面にずらりとならんだその前へ、

『へえ、ご一同様』

魚半が罷り出で、かしこまって、

『えゝ東西! 代りまして、かわりばえも致しませぬが、岩見重太郎ごろつき退治の講談一席、しばらくの間お耳を拝借仕りまして——えっへん——さてこゝに諸国武者修業のみちすがら、天下の豪傑岩見重太郎先生、やって来たのが豆州田方郡、修善寺温泉』

これも八百定に劣らず講釈好きで、江戸中の寄席を聴き回っている男だ。なかなか本格的なしゃべり方をする。その上、もとが武士だから、言葉の調子がしっかりしていて、岩見重太郎が人(ニン)に備わって見える。

『まことにけっこうな湯治場にござります。春や春、春やむかしのそのむかし、源家の運命に悲しき最後の幕を閉じましたるも御当地、この修善寺にござります』

『だまれッ、こらあッ。すっ込めえっ、乞食芸人』

やくざはかんくに怒りだしたが、魚半ちっとも驚かず。

『あいや暫く! さてこの、湯に

『やいっ』

『へえ』

『も一度ぬかしてみろ、このヤローッ』

くるりと尻をまくった。いきなり足をあげてパッと、眉間のあたりを蹴りつけた。

新劇ドサ回り ④

新協劇団の巻

舞台の上でグウグウ

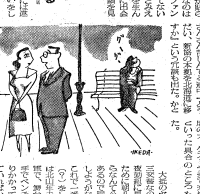
本当に眠りこんでホメられる

(七) 月末から八月の終りごろまで、俳優座の『夜の来訪者』と前後しながら東北、北海道を一と月余り。メンバーは中村栄二、高橋正夫、寺島アキ子、満洲すみ子、関京子、北山年夫、保科三良、森三樹太、小松弘、阪口冬など全部で二十四人だった。演しものはゴーリキーの『敵』。回った十二ヵ所のうち、都市は三ヵ所であとはほとんど炭坑だった。北海道炭坑の神威(カムイ)ではカーテン・コールで出演者十数人がゾロリと並んで自己紹介すると、労働者をやった役者には『バンザーイ』とか『いいゾウッ』資本家側のスパイをやった男には『お前よくもパラしゃがったなァ』『犬チクショウ!』『バカヤローめ』『裏切りやがって、それでも男かッ』と大変な声が飛ぶ。パクられることを覚悟しなければ芝居を見にも行けなかった築地小劇場時分は別として、まず東京では起りえない現象。スパイ役の小松弘は熱演を認めてくれたことはうれしくもありはするが、こうのしられると、まるで自分が本当に悪いことをしたような情ない気分にもなったらしい。

(そ)のとき使った劇場は実は二年ほど前に首吊りがあった小屋で、以来ケチがつきサッパリ客が入らない。そこで小屋主もあきらめて閉鎖してしまい、荒れ放だいのひどい有様だった。新協を招んでくれた組合が、ほかに適当な場所がないので、入りを心配しながらもここを使うことにした。ところが超満員の大入りで、すっかりウケに入り、これが厄払いとなったので、小屋主はホクホクで全くの『新協サマサマ』というところ。大変なご馳走攻めで、もう一晩と引止められた。が、予定を崩すわけに行かず、東京ではカケソバ、ラーメンで過している若い連中など、大いに未練を残しつつ翌朝次へ出発した。組合が招ぶといっても、その文化部が会社から金を引出して……という場合が多い。到着の二週間も前から職場、長屋などのアチコチに"東京から新協劇団来る"のポスターが貼られるわけだが、中に傑作なのは役者の名前が東京の新劇ファンたちの間ほどには知られてないので、いろいろ考えたとみえ『名優滝沢修、宇野重吉を生んだ新協劇団』と書いたのに出会ったときは、一同みんな顔を見合せて『ナルホド、そうには違いないが……』と苦笑いをした。

(北)辺の炭坑山といっても、近来は長屋の代りに立派なブロック建築や鉄筋アパートがドンドン建ちつつあるそうだが、奇妙なことに新しい方に移れといっても『長屋の方がいい』と動かない連中がかなりあって、部屋がいくつか空いているという話に、住宅難でさんざん苦しんでる連中『どうだい、新協の本拠を北海道に移すか』という冗談も出た。かと思うと一部の炭坑では労働者の生活水準が高くて千二、三百名の鉄筋コンクリートの劇場をもち、坑夫たちは娘にバレエを習わせ、組合が東京から招ぶものも、新協の前日には藤原義江、砂原美和子がリサイタルをやり、その他オペラやバレエ団、中編成のオーケストラまで来坑するといった具合のところもあった。

大抵のヤマは三交替なので、夜勤組に見せるために朝八時からなんて公演もあるので眠くてしようがない。これで一番トク(?)をしたのは北山年夫の将軍で、舞台の上手でベンチによりかかって眠っていればいい役。あるとき本当に眠ってしまったところ、あとから組合との座談会で、その眠りが『真に迫っていた』と褒められて彼氏冷汗をかいたそうだ。



映画やぶにらみ

明るい青春もの

『七人の兄いもうと』(大映)

▽…息子夫婦に家督をゆずり、七十五才の誕生日を迎えながら、なおかつ悠々と油絵など描いている近代的なお爺さん(潮万太郎)が狂言回し役。といって作品のねらいは従来のホームドラマではなく青春映画という扱いだから、話の焦点はもっぱら孫の世界で、長男(船越英二)や次女(藤田佳子)がそれぞれ女中(若尾文子)スポーツ青年(根上淳)に恋をしたり、失恋することでお爺さんをかけ回らせる。その結果次女が慕う青年には恋人(長谷川季子)があり、彼女こそ五十年前にお爺さんと別れた女の孫だと判ってここにめでたく七人目のいもうとができてハッピー・エンドになる。原作源氏鶏太、演出佐伯幸三。

▽…きのうまで女中として使っていた女がきょうから兄嫁となるとしたら、妹や弟も急には姉さんとは思えないのが理の当然。そこで嫁にはなったもののその日から家事に追われて妻としての時間がない。これがわが儘な坊ちゃん育ちの長男には不満で、浮気の真似をして妻の気をひいてみたりする。このくだりは大家族の長男の嫁によく見られることだし、もっと掘り下げたら面白くなったことだろう。ともかく悪人が一人も出てこないし、随所に潮万太郎が明るい笑いをおり込むから、薬にはならないが仁丹をふくんだくらいの気持にはなろうというものだ。長谷川が有望な新人らしさをチラリと見せる。(勇)



左から若尾、根上、長谷川

ふるわぬ秋の邦舞界

『劇場難』は表面だけ?

大物連は"経費"で二の足

例年なら"秋のシーズン"で活況を呈するはずの日本舞踊界も、ことしは全然パッとせず芸術祭参加も肝心の大物連は見送ったカタチ。僅かに中堅連が意欲を示しているに過ぎない。この根本的な原因は一般的な不景気のせいであるといわれ、発表会一つやるにもぼく大な経費を必要とする世界だけに影響は甚大。これは単に一時的な現象ではないとみられ、舞踊界の在り方そのものが、いまや根本的な転換期に来ているようだ。

この秋の大きな発表会といえば『東おどり』ほかの花街舞踊を除いては、九月末明治座での『華扇会』だけという寂しさだ。この原因の一つとしては今月末、新橋演舞場で例年どおり公演を予定していた『花柳研究会』および、昨年度の芸術祭賞を受けた花柳徳兵衛と、一昨年受賞者の花柳錦之輔、ならびに若柳与志之助といった大物連の発表会が、劇場側の興行スケジュール変更のためお流れになってしまったことだ。



花柳　徳兵衛



花柳　錦之輔



花柳　桜

これらの会はそれぞれ大掛りなものだけに『例年演舞場でやっているものを他の場所でやろうとしてもコンディションが違って駄目だからやめた』と関係者たちは語っているが、演舞場が駄目かもしれぬということは大体三月ごろから判っていたといわれる。演舞場が使えず明治座も予約済みで駄目なら産経ホールという手があるのだが、産経の場合は小屋借りの値段は一日二十万円で演舞場より十五万円安いが、舞台条件が劣るのと収容力、場所等の点で切符のハケ口に影響し、経費を浮かすのがホネだというわけで敬遠されたものらしい。結局は"金"の問題が底にからんでいることは事実だ。また三越劇場はじめ各百貨店のホールは一応ふさがってはいるが、例年に比べるとこれも申込みは少く、一たん申込んだのを取消すものもで相当出ている。

こういった不振の根本原因は一般的な不景気の為で、なんだかんだと派手な経費の掛かる舞踊会は、景気の悪い時は駄目だという定説をよく物語ってもいる。そのためかことしの芸術祭参加公演では、十月中に行われた花柳桜の『東京むかしむかし』(日比谷公会堂)花柳寿南海(トシナミ)の『古典研究会』(東横ホール)と今月二十八、九両日東横で催される藤間節子の『民謡アルバム』などがまあまあという程度で他にこれはという公演も見当らず、これでは本年度は受賞作もないのではないかとみられている。

また花街舞踊のほうは一応例年どおりだが、この社会は一層不景気風が深刻なため、表面はともかく陰でのやりくりは相当なものといわれる。また余計な出費を防ぐため、こういった組合で認めた会のほかは絶対に出演させぬと花街連合会でお達しをだしており、不景気風が吹くほど舞踊会は不振の一途をたどって行くようだ。

日曜サロン

五ヵ月間の老人

三船敏郎



からやったまでで、休憩時間に話かけてくれた人に怒鳴るような口調で答えたりして相手を驚かせたこともあった。それも、たったいま撮り終ったばかりの芝居が後を引いていたからのことで、僕にはちっとも他意はなかった。

こんな具合だから家に帰っても老人じみるし、酒もいつもの四分の一に減らしたそうだネ、などいわれたものだ。確かに酒の量は減ったかもしれないが、これは少々思いすぎで恐縮だ。

いくらぼくが六十才になりきろうとしても、家に帰ってまでもそうそう老人めいていられるものではない。第一それでは女房が承知しないだろうというものだ。本当に……。

だから撮影を中止した日とか休みの一日は、つとめて黒沢先生や中井キャメラマン、千秋実さんなどと一緒に釣りに出掛けぼく自身の若さを改めて確認したりして少々変な気になったこともある。こうした五ヵ月が済んだ今日では、何もかも夢中だったという一語が一番ぴったりくる。正直なところホッとした気持で一ぱいだ。

・そしてこんどは宮本武蔵になるわけだが、厳流島の決闘ともなれば六十才の老人とは事変り剣豪の最盛期である。宮本武蔵が背を丸め、ヨタヨタと歩いたら商売にならない。そこで僕はまた三十五才にもどり、いつか酒も前のように四分の四を飲むことになるだろうと思っている。つまりこれが『酒飲みの記録』後日譚てなものになるかもしれない。

【写真は『生きものの記録』の三船敏郎(左)と黒沢監督】

新宿キャバレー さくらめんと

文学座女優も出演

武智氏の円型劇場公演

武智鉄二氏が円型劇場の形式をとり、能狂言と洋楽、新劇の交流をはかる無言劇と詩劇が十二月五日(二時、六時)産経国際会議場で芸術祭参加として上演される。これは昨年演舞場において上演した『夕鶴』『東は東』についで日本における無言劇や詩劇に新しい伝統を生み出そうとする試みで、文学座の長岡輝子、岸田今日子、宮内順子が野村万之丞、万作、桜間道雄などとともに出演する。

宝塚歌劇団東京公演 来年から六―八回に

宝塚歌劇団ではこの四月東京宝塚劇場の開場以来東京公演は一年に四回と決められていたが、来年度からは年六乃至八回の東京公演を行うことに新方針を決定した。その結果スターの振りわけにはかなりの無理が生じてくる訳だが、東宝劇場側ではスターのネーム・ヴァリューに重点を置いてほしいと希望しているため、歌劇団当局でもこの線に沿って今後は大いに思い切った新人抜擢を行い、大量にスターを作り上げる計画を進めており、その第一陣として宝塚大劇場十一月の星組公演『マルタ』に従来歌手として活躍して来た大倉玉子を主役として抜擢した。

悠玄亭玉介をかこむ会 二十二日午前十時半から夜六時まで三越劇場で。玉介、寿介、ひさし、寛一、福太郎らの声色吹寄せほか市川松蔦、岩井半四郎などの舞踊、林家正蔵らのお神楽劇ほか岸沢式佐、富士松古賀太夫、文楽、貞丈、志ん生らに柳橋芸妓連も出演。

学生のための『能』鑑賞会 十二月十日午後二時から水道橋能楽堂で国学院大学教授・西角井正慶氏と宝生英雄氏の講演につづき『黒塚』シテ宝生英雄、ワキ宝生弥一と狂言『昆布売』三宅藤九郎ほか宝生九郎、佐野萌、波吉信和、渡辺三郎四氏の仕舞がある。

田辺南鶴会 二十四日六時、本牧亭。南鶴(正しきものへの味方)(お艶さん)松鯉(大閤記)渡辺隠士(詩吟物語・西郷と月照)

はと笛

▽…歌舞伎座夜の『雨だれ太鼓』では市川高麗蔵のムスコの慶三が、たいこ持ちの勘三郎と女房の芝鶴の子供で熱演。この子が友だちと遊びながら親の真似をしておでこをピシャリと叩き『へっへっへっへ ご趣向でげす……』とやり、勘三郎が叱りつけるシーンには見物もホロリ。

▽…本物の親の高麗蔵も、可愛いわが子の熱演ぶりがうれしくて仕様がなく、楽屋へ帰ってきた慶三をつかまえて『巧く演ったぞ』とホクホク顔。途端に慶三ボンと額を叩き『ご趣向でげ

名選 都々逸

石井きんざ選

嫌な座敷ももうあと少し 今度は嬉しい人が待つ　浅草・宮坂節子

おやすみしましょうもう寝ましょうと 話を打ち切る里の母　杉並・とし坊

式も旅行もいらない添えりゃ 間借り住まいでよい二人　千住・志のぶ

三十女のあたしのように 熊手のおかめの売れ残り　上十条・松本いはを

こんな雨にはしみじみあって 抱かれて甘えてみたい夜　湯本・竹本喜美太夫

◇

心配御無用嫌なら切れる 男は一人じゃないあたし　選者

『しぐれ吟社』例会 二十六日夜五時から須田町柳原河岸の柳森神社で。宿題・子守唄、みかん、探(申)浮気、芝居、各三章吐ほかに席題二。投吟のみは前日までに文京区神明町一一四大木笛我宛。

今晩のラジオ 20日(日)

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニツポン★ 1310KC
6	00 国会討論会『臨時国会を前にして』水田三喜男 中村梅吉 伊藤好道他	00 音楽のしおり≪ショパン集≫ピアノ 下村和子 30 映画の時間	05 決算から見た景気の動き 15 民謡お国自慢 町田嘉章 30 歌謡曲 雪村いづみ他	00 童話劇『仙人』劇団キューピット(学芸大学講堂) 30 歌のお店 高波小枝子他	00 ❶漫才 三国道雄・一歩 ❷落語 古今亭志ん生 30 劇『風襲黒潮丸』
7	00 ニュース◇天気予報 30 今週の明星 近江俊郎 高英男 菊池章子	00 ジヤズはいかが 原信夫と楽団 30 走る図書館≪千葉県≫	10 録音ニュース 20 ❶漫才 一歩・道雄❷落語『ろくろ首』小さん	00 録音ニュース 10 お好みヒツトメロデイ 30 三つの歌 司会中田敏夫	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) 20 花のステージ歌本宮道郎 30 16万円の質問 出題林譲
8	00 ラジオ寄席❶漫才 洋容・幸江❷落語 志ん生 30 私は誰でしよう 司会新藤アナウンサー	00 ニュース 05 音楽の窓 飯島正 野村光一 30 スポーツダイジエスト	00 劇『寄席行灯』島田正吾 辰巳柳太郎他 30 劇『花束はバラの咲くときに』小林桂樹他	00 三つの関所 司会今泉良夫 ゲスト轟夕起子 30 劇『走れよ小馬』木暮実千代・宇野重吉他	00 浪曲落語『抜け雀』広沢菊春 20 素人ラジオ演芸会 三笑亭夢楽 来宮良子他
9	00 ニュース解説 安斎義美 15 風流剣士 山内雅人 於島鈴子他 文化座 40 時の動き	00 ベートーヴエン作曲『コリオラン』『ヴアイオリン協奏曲』NHK交響楽団	10 ≪挿雲太閤記≫赤井悪右衛門の巻 木村若衛 40 佐藤金造とブルー・リボン・アンサンブル	00 歌謡ゲーム 司会大久保怜 ゲスト高田浩吉他 30 長唄『楊貴妃』唄芳村伊十郎 芳村伊四郎他	00 みんなの歌 沢田帥子 村上アナ 30 浪曲名人会『吃又恋の大津絵』梅中軒鶯童
10	15 東京千一夜 森繁久弥 中村メイコ他 45 新聞を読んで秋山安三郎	00 科学談話室 岡田要他 30 引揚者の時間 45 気象通報	05 今日のニュース(朝日) 15 小唄鑑賞 うた寥胡宇女 30 義太夫清元掛合 新口村	00 大学受験実力養成講座 幾何 清宮俊雄 30 化学 津田栄	00 [illegible] 35 スポーツ・カレンダー
11	10 夢のハーモニー 20 随筆 木村荘八作	00 原子炉の話 伏見康治 20 医学の時間 林塩	10 五元座談会≪保守結集と地方の課題≫大宅壮一他	00 録音構成『帰らざる漁船』 30 映画『生きものの記録』	00 [illegible] 20 [illegible]

テレビ ★NHK★ ◆6・00 北風のくれたテーブルかけ◆6・30 テレビ天助◆7・10 こんにやく問答◆7・30 テレビ映画劇場❶うかれヴァイオリン❷肖像 監督木下恵介 井川邦子 小沢栄他

★NTV★ ◆6・00 はてな学校◆6・25 劇『山の彼方』◆6・55 暮しのセンス◆7・00 NTVサンデー特集◆7・30 東洋ライト級特別試合◆7・45 プロレス・アジア選手権大会

★KR★ ◆6・00 [illegible] 漫画 ◆6・50 東京テレ[illegible] 『泣虫記者』上原謙他 [illegible] 毎日ニュース◆9・10 [illegible]

ラジオの話題

時と場所・目的に応じて聴き分けられる アルペン・ポータブル・ラジオ

『アルペン・スーパー・ポータブルラジオ』というのがある。オールプラスチック製で高周波一段増幅装置付、注田型コイルアンテナにイヤホーン、電源自由切換スイッチまでついているという最新式のものだ。部屋にあっては電灯線で、ハイキングや旅行には電池で、大ぜいの人のいる所でならイヤホーンで独り愉…

軍用品から写真コーナーへ

長野紙工苦心の発展

浅草駅西口際の『長野紙工印刷KK』は、戦争中、陸海軍人を対象にした写真アルバムだとか、紙製軍用品の製造をやっていた。だから、終戦となるや完全に営業はストップ。社長長野久蔵氏の苦心はここに端を発した。二十三年シール印刷と写真コーナーの製造を始めトントン拍子に成功、近くインコーナーという新製品も売り出すとか。昔から考えごとが好きですとか。

その道をきく

糸屋の旦那だが根は太い

業界の重鎮・KK田野糸店

お江戸時代から、問屋街で名高い日本橋、馬喰町、浅草橋界隈にその名を知られた大旦那。それが株式会社田野糸店(浅草橋一ノ一番地)の社長田野徳三郎氏である。田野糸店といえば糸ならどんな種類のものでも揃わぬものはないが、特に家庭糸は鐘紡、絹糸は天下一印と一流メーカーの代理店をやり、都内に二百五十軒の得意先を有する大問屋だ。自家用車を駆使して近県はもちろん論、東北、北海道地方までか…

正直な取引が人気の的

キンカ堂の生みの親・野萩康雄氏

ご婦人のオシャレになくてはならぬ店として『キンカ堂』は名を売っている。婦人服地専門で、池袋一の二二三番地が本店だ。社長は野萩康雄氏で、もと満州で火薬の製造をやっていた。終戦後東京で古着商を始めたのが今日の基。今では、女店員百名、男子店員二十名を擁する大…